

配信日：2020年03月25日

こんにちは、岩井ファルマテックのメールマガジン【Iwai Pharma Tech通信】です！

私はイカ墨パスタが大好きで、週3は食べています。イカ墨パスタは文字通り、イカの墨が使われておりますが、なんと、イカ墨含まれるナノ粒子には健康増進効果が期待できることが、最近の研究で明らかになったようです！

「またイカ墨パスタ食べている」と社内によく笑われている私ですが、健康のため堂々と食べることが出来そうです。

ナノマテリアルは私たちの生活におおいに役立つ事が期待されております。

今回は、岩井ファルマテックとナノマテリアルの繋がりについて、ご紹介させていただきます！

● ◆1:ナノマテリアルは膜法以外ありえない！？



ナノマテリアル×膜分離＝無限大 ???

完成したナノマテリアルを最終製品にしていく際、純度や濃度、溶媒置換などをいかに目的ラインに調製していくかが重要とよく聞きます。これは、ナノマテリアルの開発と同等に難しい課題になっているようです。実際にお客様からも、「副生物の除去が難しい」・「濃縮に時間が掛る」「そもそも濃縮ができない」・「分散状態を維持しながら生成時と異なる溶媒に置換するのが難しい」などと言った声を大変多く耳にします。

岩井ファルマテックの膜分離技術で、これらの課題を解決しませんか？ 将来有望なナノマテリアルの可能性を膜分離によって、さらに無限大に引き伸ばします！

◆2:それでも膜以外を選びますか？

それでは膜以外で検討した場合はどうでしょうか。粒子系の製品を例に考えると、沈降法で分離・濃縮する場合、ナノマテリアルはサイズが小さすぎて膨大な時間が掛ってしまいます。

また、蒸発法による濃縮と溶媒置換ではナノマテリアル同士の凝集が問題になり、折角単分散なナノマテリアルを生成してもその苦勞が水の泡になってしまうことがあります。

その他にも分離法は様々な手法がありますが、何れにしても先の例のような問題が無視できません。膜分離では、そのような問題は一切生じません！詳細は下記ボタンから、資料をご参照ください。

それでもまだ、膜以外の方法を選びますか？

▼お問い合わせはコチラから <http://www.iwai-pt.co.jp/contact/>

詳細情報はここをクリック

ナノマテリアルをもっともっとより良い物に出来るよう、一緒に頑張って参りましょう！
さて、今日の夕飯もイカ墨パスタだ！



**発行元 岩井ファルマテック株式会社
メルマガチーム**

〒144-003 東京都大田区東糀谷3-17-10

TEL : 03-5737-7171

FAX : 03-5737-7172

<http://www.iwai-pt.co.jp>